



2019年11月15日

日本鉄道労働組合連合会

貨物鉄産労

2019年度年末手当交渉妥結

基準内賃金の

1.6 箇月 + 0.21 箇月支給

～昨年度を0.11 箇月分上回る～

貨物鉄産労は、11月14日の団体交渉で会社から「年末手当の基準額は、基準内賃金の1.60箇月分とするが、災害対応に伴う社員の労苦に報いるとともに、下半期における一層の奮起を期待して、0.21箇月分を併せて、12月6日に支給する」との回答を受けた。

回答を受けて貨物鉄産労は、台風19号による被害について、「保険適用や特損処理を検討すれば損失は緩和され、2020年3月期決算も期待できる」との考えを示したうえで、要求月数との乖離があるものの、前回交渉(会社の考え)から支払月数を積みましたことなどを考慮し妥結した。併せて、2020春闘では、3年連続でベアを実施することを強く要請した。